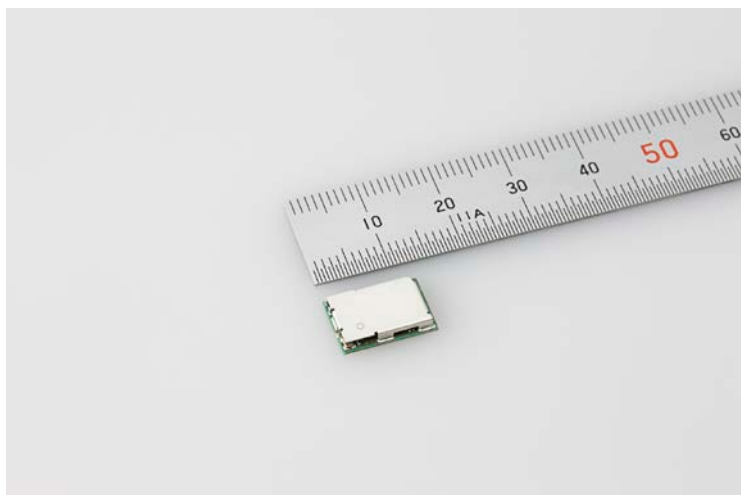


News Release

2016 年 4 月 5 日

## 太陽誘電：無線モジュールに新商品追加、高速無線通信規格に対応

—2.4GHz 帯と 5GHz 帯の利用が可能で、つながりやすさと高速通信を実現—



太陽誘電株式会社(代表取締役社長:登坂 正一、本社:東京都台東区)は、IEEE(注1)802.11ac(注2)に対応した無線モジュール「WYSBHVXG」(12.6x8.9x1.9mm、高さは最大値)を商品化します。

この商品は、産業機器市場(ロボット制御などの M2M(注3)、バーコードを読み取るハンディターミナルや読み取ったデータを印刷するモバイルプリンタなど)や監視カメラなど向けの無線モジュールです。

2.4GHz 帯を使用する IEEE802.11b/g/n と 5GHz 帯を使用する IEEE802.11a/n/ac、さらに Bluetooth®(※1) v4.2 のいずれも利用することができ、お客様の使用環境にあわせて最適な無線システムを構築することができます。

この商品は 2016 年 4 月より量産を開始します。当社サンプル価格は 4,000 円(※2)です。

近年、IoT(注4)の普及が進んで無線通信を利用する機器が急増し、データ通信量も増加傾向にあります。特にインダストリー4.0をはじめとした生産工程や製造機械の連携を行うための M2M によるロボット制御などが注目を集めており、民生機器市場に加えて産業機器市場においても無線通信の需要が高まっています。そのような環境では、利用可能な周波数帯が混雑し、相互に干渉することで無線通信が遅くなったり、接続できなくなったりするなど、さまざまな支障をきたす場合があります。

そこで当社は、IEEE802.11ac に準拠し、最大 433Mbps の高速通信に対応した無線モジュール「WYSBHVXG」を商品化。2.4GHz 帯と 5GHz 帯の無線通信規格を使用可能で、工場内など無線を多用している場所でもつながりやすさと高速無線通信を実現します。

今後も無線モジュールの商品開発を進め、IEEE802.11ac Wave2 などさらなる高速無線通信への対応を図り、ラインアップを拡充していきます。

※1 Bluetooth®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有しており、ライセンスに基づき太陽誘電株式会社が使用しています。

※2 掲載のサンプル価格は当社の販売サンプル価格になります。代理店経由のご購入を検討の際は、各代理店へお問い合わせ下さい。

## ■ 用途

産業機器市場(ロボット制御などの M2M、バーコードを読み取るハンディターミナルや読み取ったデータを印刷するモバイルプリンタなど)や防犯カメラなど向けの無線モジュール

今回商品化した無線モジュールは以下の通りです。

| 品番       | WLAN                 | I/F          | Bluetooth | Embedded | Operation Temperature |
|----------|----------------------|--------------|-----------|----------|-----------------------|
| WYSBHVXG | 802.11<br>a/b/g/n/ac | SDIO,<br>PCM | Yes       | X'tal    | -30～85℃               |

## ■ 用語解説

(注 1)IEEE (アイ・トリプル・イー、Institute of Electrical and Electronics Engineers)

米国に本部を持ち、世界各国で電気・電子、情報通信などの分野で標準化活動を行っている非営利の学術団体のこと。米国電気電子学会と呼ばれることもある。

(注 2)IEEE802.11ac

IEEE によって策定された無線 LAN 規格のひとつ。IEEE802.11 は無線 LAN に関する標準化を行うワーキンググループで、IEEE802.11ac は 2014 年 1 月に正式な規格として策定された。

(注 3)M2M (Machine-to-Machine)

無線通信などのネットワークを介して相互に通信可能な機械、あるいはそのネットワークシステムの総称。人感センサや温度計などのデータを収集し、照明や空調を管理するビル管理システムやスマートメーターで電力の使用状況をリアルタイムに把握し、より効率的な送電網を実現するスマートグリッドなどさまざまな用途に広がりを見せている。

(注 4)IoT (Internet of Things、モノのインターネット)

スマートフォンやウェアラブル機器をはじめ、自動車、産業機器などあらゆるものに通信機能が搭載され、インターネット接続や相互通信により、自動制御や遠隔管理などが行われること。